



## 阿木川ダムを越え岩村に

秋の景観を楽しみながら明知鉄道沿線を歩く「メモリアルマーチ2006」が11月3日に開催され、約130人が参加しました。参加者は、体力に合わせて恵那市役所から明知鉄道岩村駅までの13<sup>キロ</sup>のコースと、途中岩村城址を経由する20<sup>キロ</sup>のコースに分かれて歩きました。道中の阿木川ダムでは、1年のうちでも、この日しか解放されないという石積みを通ってのダムの堤体登りに挑戦でき、参加者は額に汗をにじませながら斜面を登りました。

ダムの堤体登りに臨む参加者

## 紅葉の達原溪谷を歩く

11月5日、上矢作町福寿の里スポーツクラブが、達原溪谷の紅葉を楽しむウォーキングを開催し、約70人が参加しました。

ウォーキングには、上矢作町をはじめ、大井町、岩村町など初めて参加された方も多く、切り立った岩肌に紅葉が映える達原溪谷や海地区の景色を満喫しました。小学生の親子から80歳代の方まで参加し、ゴールの長野県平谷温泉で秋の味覚あふれる食事と温泉などで実りある秋の一日を過ごしました。



上矢作町達原溪谷の美しい景色を満喫する参加者



## 力作が並んだ「こども展」

11月8日から7日間、恵那文化センターで市内小中学校の児童生徒の力作作品、約1,000点が展示され、来場者の目を楽しませました。この展示は、授業などで手掛けた絵画や陶芸などを通して、学校間交流を図ることを目的に、旧恵那市では約30年前から始まり、合併後は今回で2回目の開催となりました。

また、この展示の中には、夏休みの課題研究で取り組んだ科学作品や社会科レポートなども紹介されました。

他校の作品を興味深々に見入る児童たち



## 北小児童がソプラノと競演

10月27日、恵那北小学校体育館で笠置山麓ふれあいコンサートが開催され、約200人がソプラノなどの優しい音色に聞き入りました。関西を中心に活躍する中野方町出身のソプラノ歌手鷺見佳子さんのほか、ヴァイオリン、コントラバス、ピアノの演奏によりクラシックからおなじみの漫画の曲まで演奏されました。また恵那北小学校児童らが参加して、校歌を合唱するなど楽しいコンサートとなりました。

恵那北小児童らが合唱で参加しました

## 親子で楽しむひとときを

10月29日、山岡農村環境改善センターで親子フェスタが開催され、町内の親子約210人が参加しました。会場では、地元住民の指導によるわら細工体験や、同町中学校教師が教える似顔絵漫画やスライムづくりを親子で体験。イワクラ文化のパネル展示や、ジュニアリーダーによる紙飛行機づくりなども行われ、会場はにぎわいました。また地元住民の加藤幸夫さんによる戦時中の体験談や同町中学生による合唱なども行われました。



地元のお年寄りからわらの編み方を習う親子



## ハチの巣の特大ケーキ

11月3日、串原のサンホールくしはらで、全国へばの巣コンテストが開催され、多くの人でにぎわいました。

コンテストは、へば（クロスズメバチ）を育てる飼い巣と天然巣の部に約100巣が出品され、長野県阿南町の金田純夫さんが7700<sup>グラム</sup>の新記録で3年連続のグランドチャンピオンに輝きました。会場では、巣の即売会、へばの五平もちやご飯など特産品が販売され、山里の味覚を求め行列ができました。

特大のケーキを連想させる新記録のハチの巣



## 秋の中山道で史跡を巡る

11月18日、地域の町づくりを進める大井町夢おこし委員会が中山道ふれあいウォーキングを開催し、約100人が参加しました。

参加者は、中山道大井宿の史跡をはじめ、広重の浮世絵版画に描かれた甚平坂公園などの名所を巡りながら、約8キロを歩きました。お昼には、甚平坂公園で用意されたトン汁とおしるこで元気を蓄え、紅葉に色づく秋の景色の中、地域の自然と史跡を訪ね、健康づくりができました。

上宿石仏群の説明を受ける皆さん（大井町）



## 音楽や体操でふれあい交流

11月11日、市民会館で第4回障害者ふれあいレクリエーション大会が開催されました。この大会は、障害を持っている方々の交流と情報交換を目的に開催されており、今年で4回目。会場では、軽快なBGMが流れる中、大玉ころがしやパン食い競争、輪投げやスプーンリレーが行われ、あちこちで歓声が上がりました。また音楽療法などで活動をしている「トライアングル」の皆さんの指導で、手話の歌やリズム遊びなども楽しみました。

パンを目掛けて一目散に走ったパン食い競争

## みんなで長島歩いCiao

長島町まちづくり委員会は、11月19日、第1回「おさしまぜ〜んぶ知っCiaoウォーク」を開催しました。小雨の降る中、市内外から約300人の参加者が集まりました。参加者は8.8キロと4キロのコースに分かれて歩き、中山道や西行塚などの歴史的遺産や、まきがね公園など町内にある公園を巡り、紅に色付いた木々を間近で見るなど、普段車を運転する中では見ることのできない風景を楽しみながら、長島町の魅力を再発見しました。

恵那文化センター裏を歩く参加者



## 笠置町で回想法スクール

笠置町活性化委員会は、11月12日、認知症予防のための「回想法スクール」を開催しました（全5回）。笠置町では、人口の3分の1が65歳以上。高齢者の健康づくりは大きな課題であり、明智町で実施されている回想法スクールを参考に地域住民で立ち上げました。初回となったこの日は、リーダーに名古屋女子大学の梅本充子先生を招き、66歳〜77歳の参加者9人が幼少期の思い出や戦時中の話などを踏まえて自己紹介をしました。

思い出話に笑い声いっぱいの会場



## 道の駅で大焼きいも大会

11月19日、道の駅「おばあちゃん市・山岡」で大焼きいも大会が開催され、来場者100万人を達成した記念セレモニーが行われました。

この日、地元で採れたサツマイモ約700本を、もみ殻焼きやつぼ焼き、石焼で焼き上げ、来場者は食べ比べながら秋の味覚を楽しみました。またセレモニーではくす玉が割られ、玉木郁郎代表取締役から「こだわりの道の駅おばあちゃん市を頑張って続けたい」と今後ますますの駅の発展を誓いました。

来場者100万人を祝ったくす玉に多くの歓声上がる



## 思い出を校歌に込めて

11月14日、岩村公民館で中国出身の二胡奏者・張濱（チャンビン）さんの演奏会「悠久のときを奏でる二胡の調べ」が開かれ、岩村高校生、保護者ら約180人が参加しました。

来年度、明智商業高校と統合する岩村高校は、藩校「知新館」から受け継がれている伝統を残そうと演奏会などを企画。演奏会の後には、全校生徒と教職員などによる校歌の合唱が収録されました。皆さんの歌声はCD化され、希望者に提供されます。

統合を控え岩村高校生らが校歌を録音